



# 市長からの手紙

## 87 議会と執行部について

4月の統一地方選挙で新しく36人の議員さんが当選され、これから4年間の川越市議会の構成員が決まりました。市議会の活動については、議会の広報紙である「かわごえ議会だより」が、年4回の定例議会の閉会后発行され、その中かなり詳しく紹介されます。しかし、議会の基本的役割や、執行部(市行政を担う組織)との関係等については、誤解されている面がありますので、新しい構成の市議会が始まったのを機会に、いくつかお話しします。

まず、市議会議員と市長は別々の選挙で選ばれ、独立した存在ですから、一方が他方に対し指揮命令できる関係にはありませんし、一方が他方を処分できる関係でもありません。この関係については、あまり知られていないようです。セクハラ事件のときなど、市長に対して「議員を厳正に処分して欲しい」という意見が市民の皆さんの中から寄せられることがありますが、議会と執行部(市長)の関係を誤解した要望

です。

次に、市議会の役割は、市という団体の基本的な意思を決定することにあります。行政を監視(チェック)するという役割も重要ですが、市の基本的意思を決定するという役割は、監視機能と同等の、あるいはより重要な議会の機能です。条例制定や予算の決定をはじめ、市の基本的な重要事項の決定権は議会にあります。市長(執行部)は、予算案、条例案等の議案を提出することと、国の法令、議会の議決した条例等に基づき、予算の執行となる事業を実行する権限を有します。「議会と執行部(市長)は車の両輪だ」というのは、この関係を言い表したものです。

市長には、議会を招集する権限がありますが、招集された議会の運営は議会自身が決めるもので、議会運営に関して市長に権限はありません。市長をはじめ執行部の幹部が議会(委員会も含む)に出席するのは、議案に対する説明員として、議長からの出席要請を受けて出席するものです。従って、議場(委員会室も含む)での議員と執行部のやり取りは「質問」または「質疑」とこれに対する答弁(回答)です。

なお、議会と執行部の関係や、それぞれの担う役割については、お伝えできていない部分もありますので、今後、もう少し詳しくお伝えする予定です。

川越市長 川合善明

### 「手話」で話そう③

障害者福祉課 ☎224-5785

Fax 225-3033

手話は、日本語とは別の文法を持ち、日本語を話すときのように口を動かすことはほとんどありません。しかし、手話単語には、手の形や動きが同じで、複数の意味を持つ言葉があるため、手と同時に口を動かして言葉の意味を表すことがあります。例えば、今回紹介する「数」には「算数」という意味もあり、その単語を手話で表す場合は、手話と共に「かず」や「さんすう」と口を動かして単語の意味を補うことがあります。ほかにも、人の名前や建物の名称など、固有名詞を表す場合にも、口を動かすことがあります。

また、日本語習得後に聞こえなくなった方や、ある程度聞こえる方などは、日本語を話しながら、単語を手話で表して話すこともあります。

#### 今日から実践！ ミニ手話講座

##### 数



人さし指・中指・薬指の3指を立てた両手の小指側を2回付ける  
\*数のほかに、番号・数字・算数などの意味もあります。

##### 紹介



親指を立てた右手を口の前で左右に小さく動かす  
\*紹介のほかに、案内・通訳・弁護などの意味もあります。